

★めぐり来る敗戦の日と日本のゆくえ

―六十二年の平和は何によってもたらされたか―

◆八月十五日、また敗戦の日がめぐってきます。六十二年間、日本は一度も戦争をせず、一人の戦死者も出さずに来しました。この平和は何によってもたらされたのでしょうか

★日米安保体制が戦後日本の平和を作ったか

◆日米安保条約が戦後日本の平和を作ったとよく言われます。そう思っている人もいます。果たしてそうでしょうか？

◆お隣の韓国はベトナム戦争の時、米韓相互防衛条約に基づき約三十万の兵士を戦場に送り約四万人のベトナム兵を殺しました。韓国の兵士も五千人の戦死者を出しました。日本との違いは何だったのでしょうか？

★平和憲法第九条が戦後日本の平和を実現した

◆日本には平和憲法・第九条があり戦争を放棄しています。だからベトナム戦争にもイラク戦争にも参戦しなかったのです。その結果、一人も殺さず日本人も一人も死にませんでした。平和憲法・九条のおかげでした。

★平和憲法を変えて戦争のできる国へ？

◆いま、憲法を変えて戦争のできる国にしようという動きがあります。このビラの裏の写真をご覧下さい。空襲で焼け野原となった六十二年前の浜松の光景です。みなさんは憲法を変えて戦争をし、戦死者を出して再びこのような浜松の姿、日本の姿にしたいのですか？

★平和憲法で国際貢献、これが日本の使命です

◆もし、平和憲法が変えられ、安保条約だけが残ったら、日本は再び戦争をする国になってしまいます。国際貢献は武力でするのではなく、平和憲法を生かし平和外交で貢献する、それが日本の正しい進路です。

二〇〇七年八月十二日(日) 第四八六回憲法を守る平和行進

浜松市憲法を守る会 事務局 浜松市紺屋町三〇一―一五

★月例護憲平和行進 毎月第二日曜日・午後一時・浜松市役所正面玄関集合

講演会のおしらせ(07年 改憲を許さない8・15平和の集い in 浜松)

日時 八月十五日 午後一時開場 二時開会
演題 「日本国憲法の精神とその背景」
講師 山本義彦(静岡大学副学長)
場所 クリエート浜松2階ホール (入場無料)

●ご通行中の皆さん、ドライバーの皆さん、こんにちは。歩き続けて四〇年。ただいま、「浜松市憲法を守る会」の第四八六回の平和行進を行っています。

●今年もあと三日で六十二年目の敗戦記念日がめぐってきます。この六十二年間、日本は一度も戦争をせず、他国の人も自国の人も一人も殺さずに、今日まで来ました。これは何によつてもたらされたのでしょうか？

●よく、日米安保条約が日本の平和を守ったと言われます。またそう思っている人がいます。しかし、お隣の国、韓国を見てみましょう。韓国は米韓相互防衛条約によって、ベトナムに三十万人の兵士を送り、約四万人のベトナム兵士を殺しました。日本との違いは何だったのでしょうか。

●それは、日本には平和憲法・第九条があったからです。日本の憲法は戦争を放棄しています。だから、ベトナム戦争にもイラク戦争にも参戦せず、一人の人も殺さず、一人の日本人戦死者も出さなかったのです。平和憲法が日本を守ったのです。

●しかし、今、この平和憲法を変えて、この国を戦争のできる国に変えようとする動きがあります。どうか今お配りのビラを手にとつて裏の写真をご覧下さい。六十二年前空襲で焼け野原となった浜松市の姿です。

●皆さんは、憲法を変えて、この国が再び戦争のできる国になることをお望みですか？他国の人を殺し、戦死者を出し、再びこの写真のような浜松市、日本国にしたいのですか？

●もし、平和憲法が変えられ、安保条約だけが残ったら、日本は再び戦争をする国になつてしまいます。国際貢献は武力ではなく、平和憲法を生かし、平和外交で貢献する、それが日本の使命であると私たちは信じます。

●八月十五日午後二時よりクリエート浜松で 改憲を許さない8・15平和の集いイン浜松が開かれます。静岡大学副学長・山本義彦氏の「日本国憲法の精神とその背景」という講演があります。どうぞおいで下さい。入場無料です。